

## 『自分のビジョンを起点に授業をデザインしてみよう！』

みなさま、サタラボ10周年を一緒に祝ってくださりありがとうございました。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

サタラボに参加してくださる方々は日本語教師を中心に様々な形で日本語教育に関わっています。日本語教師という職業ひとつとっても、所属する組織や取引先、出版社の編集の方々、同僚や学習者など、さまざまな関係者と折り合いをつけながら、仕事をする人が多いのではないのでしょうか。日本語教師としてのキャリアを築いていく中で、日本語教育の知見を提供しながら、関係者間で調整していくことも日本語教師の専門性だと思っています。調整して先に進み、よりよい授業を提供していこうとする中では、日本語教育の専門的な知見だけでなく、立ち止まり、自分がどんなビジョンを持って日本語教育を行っているのか意識することも大切なことではないのでしょうか。また、日々の仕事をする中で壁にぶつかったとき、常識を疑い、クリティカル思考で考え直してみることも欠かせないのではないかと思います。

今回のサタラボでは、『Can-do で教える 課題遂行型の日本語教育』(三修社)をクリティカルに読み解いてみたいと思います。そして、同書の「課題遂行型日本語教育」では、何を狙っているのか、どんなビジョンを元にコースデザインがされているのか考えてみます。その上で、自分の考えと比較し、違いを意識しながら、自分の描いているビジョンをもとに授業をデザインすることを目指します。講師は、プロジェクト型学習(Project-Based Learning:以下PBL)を基にコースデザインしている平澤栄子さんをお願いしました。平澤さんが発信しているnote ([https://note.com/e\\_hirasawa](https://note.com/e_hirasawa))や『日本語教育いどばた』(移転作業中)でご存じの方も多いでしょう。お時間がありましたら、是非覗いてみてください。

【講師・平澤栄子さんからのことば】私は、ここ数年、「Project-Based Learning」に基づいた授業にチャレンジし、テキストを使わず、自分で考えてコースデザインをするという経験をしました。その経験から自身のビジョンを持って日本語教育に関わることの大切さを痛感しました。とは言っても、日本語教育の現場は、制度や組織などからさまざまな制約を受けています。そのような制約とどう折り合って、自分のビジョンを活かしていけばいいのか、みなさんと一緒に考えてみたいです。

日時: 2024年9月8日(日) 9:00-12:00 開場 8:45 懇親会:12:15-14:15(希望者のみ参加)

会場: zoom

対象者: 日本語教師&日本語教育関係者(定員:先着 30名)

参加費: 3,000円(振込先はメール申し込み返信の形でお知らせいたします)

懇親会費: 0円 (お食事やお飲み物は各自ご用意ください)

懇親会時間内は zoom のお部屋を空けてあります。ご自由に途中参加、途中退出なさってください。

申込: <https://forms.gle/Nqsu8qXw2EiZFm238>

申し込みフォームでのお申し込み後、お振込先をお知らせいたします。

振込が完了後、正式にお申し込み受付となり、キャンセル時はご返金できませんのでご了承ください。

お問い合わせ: satalabo1@gmail.com

主催: サタラボ 代表: 小山暁子

事務局: 伊藤麻友子・森谷智美・渡辺倫弥